

平成28年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	岡山県		市町村類型	II-2	指定団体等の指定状況		区分	平成28年度(千円)	平成27年度(千円)	区分	平成28年度(千円・%)	平成27年度(千円・%)	
					財政健全化等	×							
市町村名	笠岡市		地方交付税種地	1-2	財源超過	×	歳入総額	24,303,371	23,879,668	実質収支比率	2.5	3.6	
					首都	×	歳出総額	23,793,587	23,298,658	経常収支比率	95.3	90.7	
					近畿	×	歳入歳出差引	509,784	581,010	(※1)	(101.0)	(97.0)	
					中部	×	翌年度に繰越すべき財源	179,593	99,917	標準財政規模	13,212,686	13,547,751	
人口	27年国調(人)	50,568	産業構造(※5)	過疎	×	実質収支	330,191	481,093	財政力指数	0.55	0.54		
	22年国調(人)	54,225		山振	×	単年度収支	-150,902	95,630	公債費負担比率	12.6	15.2		
	増減率(%)	-6.7		低開発	×	積立金	134,676	33,693	健全化判断比率				
住民基本台帳人口(※7)	29.01.01(人)	50,346	第1次	27年国調	1,041	22年国調	1,013	低開発	×	積立金取崩し額	1,045,000	130,000	
	うち日本人(人)	49,951		22年国調	4.8	4.5	指数表選定	○	実質単年度収支	-1,040,328	21,463	5.8	6.5
	28.01.01(人)	51,219	第2次	27年国調	7,054	22年国調	7,542	標準財政収入額	6,026,394	6,066,297	資金不足比率(※4)		
	うち日本人(人)	50,851		22年国調	32.8	33.6	標準財政需要額	10,826,266	10,996,574	標準収支比率	10.826	10.997	
	増減率(%)	-1.7		27年国調	13,382	13,922	標準税収入額等	7,675,877	7,717,732	経常経費充当一般財源等	12,741,162	12,584,999	
うち日本人(%)	-1.8	第3次	27年国調	62.3	61.9	歳入一般財源等	16,480,420	16,256,715	歳入一般財源等	16,480,420	16,256,715		
面積(km ²)	136.39												
人口密度(人/km ²)	371												
世帯数(世帯)	19,189												
職員の状況													
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	23,002,873	22,515,605			
	市区町村長	1	8,370	一般職員	337	1,089,521	3,233	うち公的資金	20,110,041	19,508,645			
	副市区町村長	1	7,022	うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	6,201,432	546,198			
	教育長	1	6,413	うち技能労務職員	42	141,666	3,373	収益事業収入	-	-			
	議会議長	1	5,200	教育公務員	28	96,294	3,439	土地開発基金現在高	648,300	648,300			
	議会副議長	1	4,600	臨時職員	-	-	-	積立金現在高	1,034,009	1,704,333			
	議会議員	20	4,200	合計	365	1,185,815	3,249	減債基金	3,036	3,035			
				ラスパイレース指数			100.2	その他特定目的基金	517,558	487,241			

一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 団体名	(※3)		
(1)	一般会計	(5)	笠岡市国民健康保険事業特別会計	(9)	笠岡市水道事業会計	(11)	笠岡市下水道事業特別会計	(14)	岡山県笠岡市・矢掛町中学校組合	(24)	笠岡市土地開発公社	○
(2)	笠岡市へき地診療施設特別会計	(6)	笠岡市国民健康保険真鍋島直営診療施設特別会計	(10)	笠岡市病院事業会計	(12)	笠岡市土地造成事業特別会計	(15)	岡山県西部衛生施設組合	(25)	笠岡市総合福祉事業団吸江社	
(3)	笠岡市相生墓園事業特別会計	(7)	笠岡市介護保険事業特別会計			(13)	笠岡市工業団地造成事業特別会計	(16)	岡山県西部環境整備施設組合	(26)	笠岡市文化スポーツ振興財団	
(4)	笠岡市公共用地取得事業特別会計	(8)	笠岡市後期高齢者医療特別会計					(17)	笠岡地区消防組合	(27)	井原鉄道株式会社	
								(18)	岡山県西南水道企業団			
								(19)	岡山県西部地区養護老人ホーム組合			
								(20)	岡山県市町村総合事務組合一般会計			
								(21)	岡山県市町村総合事務組合貸付金特別会計			
								(22)	岡山県市町村総合事務組合拠出金事業特別会計			
								(23)	岡山県市町村総合事務組合交通災害共済特別会計			

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）				地方税の状況（単位 千円・％）				歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
地方税	6,972,884	28.7	6,548,621	51.9	普通税	6,548,621	93.9	78,532	議会費	286,969	1.2	23,150	286,969
地方譲与税	215,754	0.9	215,754	1.7	法定普通税	6,548,621	93.9	78,532	総務費	3,132,682	13.2	498,433	2,191,800
利子割交付金	6,392	0.0	6,392	0.1	市町村民税	2,562,616	36.8	78,532	民生費	7,505,524	31.5	28,524	3,859,104
配当割交付金	22,862	0.1	22,862	0.2	個人均等割	83,912	1.2	-	衛生費	2,667,325	11.2	91,614	2,093,411
株式等譲渡所得割交付金	15,027	0.1	15,027	0.1	所得割	1,953,268	28.0	-	労働費	98,532	0.4	13,794	406,989
地方消費税交付金	862,949	3.6	862,949	6.8	法人均等割	129,377	1.9	-	農林水産業費	1,212,295	5.1	789,486	406,989
ゴルフ場利用税交付金	39,669	0.2	39,669	0.3	法人税割	396,059	5.7	78,532	商工費	331,450	1.4	30,948	294,902
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	3,537,670	50.7	-	土木費	2,830,908	11.9	1,334,658	1,803,650
自動車取得税交付金	42,507	0.2	42,507	0.3	うち純固定資産税	3,531,594	50.6	-	消防費	1,095,894	4.6	289,036	994,618
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	156,651	2.2	-	教育費	2,316,448	9.7	619,291	1,833,496
地方特例交付金	19,283	0.1	19,283	0.2	市町村たばこ税	291,684	4.2	-	災害復旧費	192,262	0.8	-	70,468
地方交付税	5,764,368	23.7	4,790,966	38.0	鉱産税	-	-	-	公債費	2,123,298	8.9	-	2,078,258
普通交付税	4,790,966	19.7	4,790,966	38.0	特別土地保有税	-	-	-	諸支出金	-	-	-	-
特別交付税	973,263	4.0	-	-	法定外普通税	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-
震災復興特別交付税	139	0.0	-	-	目的税	424,263	6.1	-	歳出合計	23,793,587	100.0	3,718,934	15,970,636
(一般財源計)	13,961,695	57.4	12,564,030	99.6	法定目的税	424,263	6.1	-					
交通安全対策特別交付金	7,174	0.0	7,174	0.1	入湯税	-	-	-					
分担金・負担金	302,967	1.2	-	-	事業所税	-	-	-					
使用料	280,415	1.2	24,026	0.2	都市計画税	424,263	6.1	-					
手数料	153,265	0.6	-	-	水利地益税等	-	-	-					
国庫支出金	3,175,265	13.1	-	-	法定外目的税	-	-	-					
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-					
都道府県支出金	1,423,199	5.9	-	-	合計	6,972,884	100.0	78,532					
財産収入	30,000	0.1	23,720	0.2									
寄附金	356,784	1.5	-	-									
繰入金	1,233,598	5.1	-	-									
繰越金	341,010	1.4	-	-									
諸収入	630,556	2.6	114	0.0									
地方債	2,407,443	9.9	-	-									
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-									
うち臨時財政対策債	745,843	3.1	-	-									
歳入合計	24,303,371	100.0	12,619,064	100.0									

区分	平成28年度	平成27年度
徴収率 現・計	合計 98.9 96.2 99.0 95.8	
(%)	市町村民税 98.6 96.3 98.9 96.0	
	純固定資産税 99.1 96.0 99.0 95.5	

区分	平成28年度	平成27年度
公営事業等への繰出	合計 3,958,150	120,676
	下水道 877,660	46,235
	病院 747,220	7,347
	宅地造成 99,390	11,725
	上水道 26,238	82
	国民健康保険 417,964	107
	その他 1,789,678	359

区分	平成28年度	平成27年度
国民健康保険事業会計の状況	実質収支 120,676	
	再差引収支 46,235	
	加入世帯数(世帯) 7,347	
	被保険者数(人) 11,725	
	被保険者 1人当り { 保険税(料)収入額 82	
	{ 国庫支出金 107	
	{ 保険給付費 359	

区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	9,856,904	41.4	6,594,283	6,266,735	46.9
人件費	3,441,378	14.5	3,160,115	2,976,858	22.3
うち職員給	2,103,001	8.8	1,869,522	-	-
扶助費	4,292,228	18.0	1,355,910	1,232,517	9.2
公債費	2,123,298	8.9	2,078,258	2,057,360	15.4
元利償還金	2,122,912	8.9	2,077,872	2,056,974	15.4
内 うち元金	1,920,175	8.1	1,879,772	1,858,874	13.9
内 うち利子	202,737	0.9	198,100	198,100	1.5
一時借入金利子	386	0.0	386	386	0.0
その他の経費	10,025,487	42.1	8,065,219	6,474,427	48.4
物件費	3,190,524	13.4	2,514,441	1,906,078	14.3
維持補修費	255,121	1.1	214,155	213,690	1.6
補助費等	2,633,536	11.1	2,307,098	1,836,763	13.7
うち一部事務組合負担金	1,338,452	5.6	1,329,008	1,286,248	9.6
繰出金	3,157,645	13.3	2,790,050	2,517,896	18.8
積立金	323,083	1.4	148,983	-	-
投資・出資金・貸付金	465,578	2.0	90,492	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	3,911,196	16.4	1,311,134	-	-
うち人件費	96,094	0.4	69,677	-	-
普通建設事業費	3,718,934	15.6	1,240,666	-	-
うち補助	1,297,772	5.5	83,261	-	-
うち単独	2,223,959	9.3	1,062,702	-	-
災害復旧事業費	192,262	0.8	70,468	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	23,793,587	100.0	15,970,636	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成28年度 岡山県岡山市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	24,280	23,772	508	328	1,234	22,685	
2 笠岡市へき地診療施設特別会計	17	15	2	2	0	1	
3 笠岡市相生墓園事業特別会計	150	150	0	0	128	0	
4 笠岡市公共用地取得事業特別会計	51	51	0	-	51	317	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							

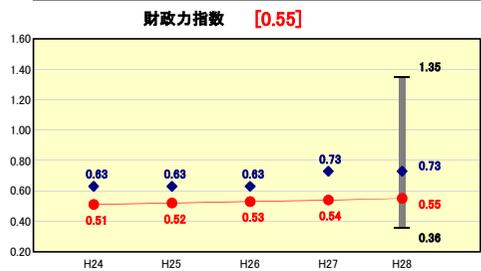
(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	50,346	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	49,951	人(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	136.39	km ²	実質公債費比率	5.8	%
歳入総額	24,303,371	千円	将来負担比率	67.5	%
歳出総額	23,793,587	千円	市町村類型	H24 II-1 H25 II-1 H26 II-1	
実質収支	330,191	千円	(年度毎)	H27 II-2 H28 II-2	
標準財政規模	13,212,686	千円			
地方債現在高	23,002,873	千円			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

財政力

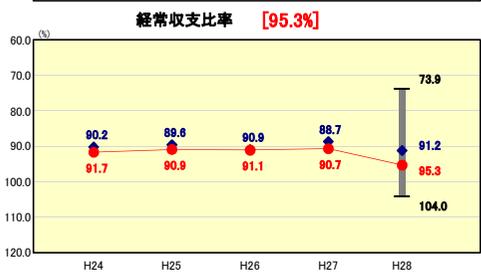


類似団体内順位 77/93 **全国平均 0.50** **岡山県平均 0.42**

財政力指数の分析

前年度に比較して0.01ポイント上昇しているが、類似団体平均より低い水準である。人口の減少や、市内に中心となる産業が少ないこと等により、財政基盤が弱いため類似団体平均を下回る傾向が続いている。投資的経費を抑制する等、歳入の徹底的な見直しを行うとともに、税収の徴収率向上を図り、歳入確保に努める。

財政構造の弾力性

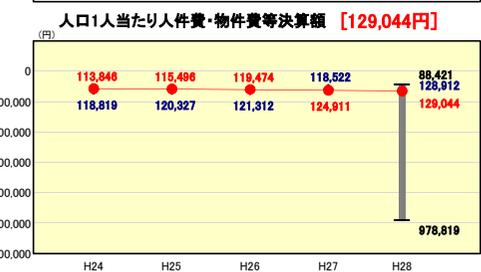


類似団体内順位 78/93 **全国平均 92.5** **岡山県平均 89.4**

経常収支比率の分析

前年度に比べて4.6ポイント上昇した。上昇の最大の原因は、分母の経常一般財源の減で、普通交付税が前年比で、1億4千万円の減(△2.8%)、地方消費税交付金は1億2千万円の減(△12.2%)となったことによる。また一方、分子の経常経費充当一般財源は、定年退職の増等により、前年度より、1億56百万円の増(+1.2%)となった。分子分母ともに経常収支比率を押し上げるような結果となっている。

人件費・物件費等の状況

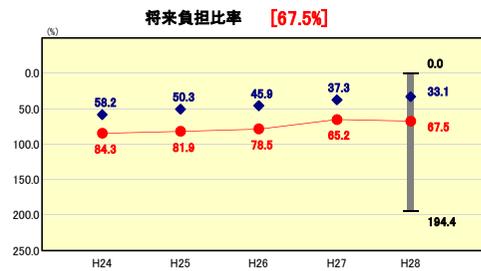


類似団体内順位 69/93 **全国平均 123,135** **岡山県平均 125,578**

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析

前年度に比較して、4,133円増加している。人件費については、退職者の増により退職金が対前年比114.7%増となったため、人口1人当たりでは増加となっている。人口動向を注視しながら、適正な職員数の配置と内部事務の効率化に努めていく必要がある。

将来負担の状況

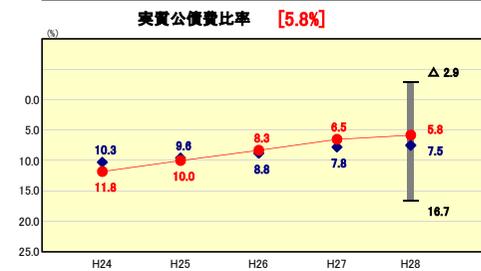


類似団体内順位 69/93 **全国平均 34.5** **岡山県平均 33.5**

将来負担比率の分析

前年度に比較して2.3ポイント上昇している。分子については、地方債借入額が増加し地方債現在高が増したため、土地開発公社の健全化による設立法人の負債額等負担見込額の減少分が相殺されている。また、財政調整基金の減少等により充当可能財源が減少したため、分子全体では増加している。分母については、標準財政規模が小さくなっており増加している。今後も、大規模なハード事業が続くため、市債借入額が増加傾向になると見込まれるが、比率が上昇することのないように、借入金の一括償還など債務を増やさない取り組みを継続して実施する必要がある。

公債費負担の状況



類似団体内順位 33/93 **全国平均 6.9** **岡山県平均 8.6**

実質公債費比率の分析

前年度に比較して0.7ポイント減少している。財政運営適正化計画による借入金の一括償還や継続した市債借入額の制限により着実に改善している。今後も公債費を減少させるために、市債借入額の抑制や一括償還を継続的に実施する。平成29年度財政運営適正化計画では、6.5%未満を数値目標としており、引き続き数値の維持に努める。

定員管理の状況

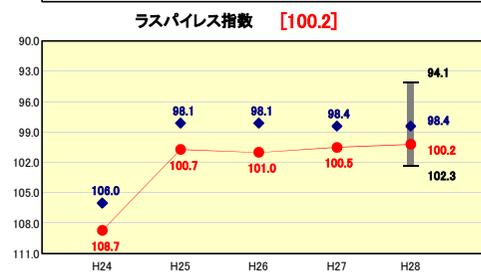


類似団体内順位 51/93 **全国平均 7.90** **岡山県平均 8.33**

人口千人当たり職員数の分析

前年度と比較して0.1ポイント増加している。人事異動による他会計からの異動及び分母となる人口が減少していることが増加の要因である。職員数については、市独自の定員適正化計画を策定しており、今後も同計画に基づき、適正な定員管理を行う。併せて職員的能力向上のための研修や事務事業の効率化などにより、行政サービスの維持・質の向上を図る。

給与水準 (国との比較)



類似団体内順位 76/93 **全国平均 99.1** **全国町村平均 98.4**

ラスパイレス指数の分析

給料表の独自見直しを実施するなど適正化に努めている。平成28年度では前年度より0.3ポイント下げたが、類似団体平均よりも1.8ポイント上回っている。今後も、給料表見直しを行うなど、給与の適正化に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成28年度

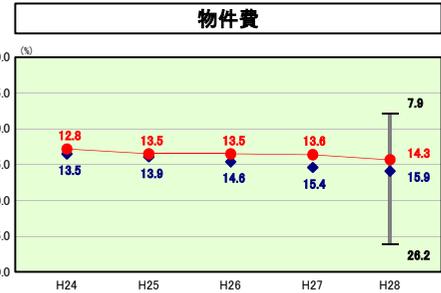
岡山県笠岡市

経常収支比率の分析

人口	50,346人	(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	49,951人	(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	136.39km ²		実質公債費比率	5.8%
歳入総額	24,303,371千円		将来負担比率	67.5%
歳出総額	23,793,587千円		市町村類型	H24 II-1 H25 II-1 H26 II-1
実質収支	330,191千円		(年度毎)	H27 II-2 H28 II-2
標準財政規模	13,212,686千円			
地方債現在高	23,002,873千円			

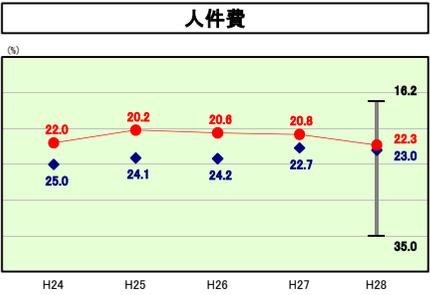


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



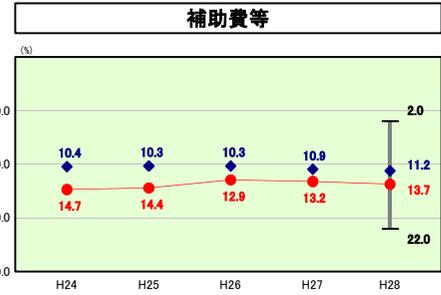
物件費の分析欄

類似団体平均と比較しても低い水準となっているが、臨時職員等賃金の増や分別収集委託料の増等により0.7%増となっている。事務事業の効率化を図るため、職員配置の見直しや、業務の外部委託が増えているが、今後も事務効率化の取組みを続け、内部管理経費の削減等に努める。



人件費の分析欄

類似団体平均と比較すると低い水準で推移してきたが、退職金の増と類似団体の改善傾向によりほぼ同水準となった。給料表の見直しを行うなど給与水準の適正化に努めているが、今後も引き続き給料表の見直し等を行い、人件費や人件費に準ずる費用全体について抑制していく必要がある。



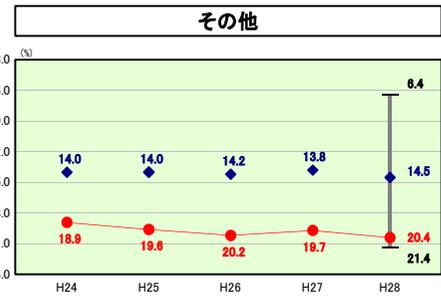
補助費等の分析欄

一部事務組合負担金の増が要因となり、0.5%の増となっている。



扶助費の分析欄

類似団体平均と比較すると、低い水準となっているが、社会保障経費は増加傾向にある。障害福祉サービスや私立保育所委託料等の増により5.2%の増となっている。福祉の低下を招いてはいけないが、生活保護等の資格審査等は適切に実施し、適正な給付に努める。



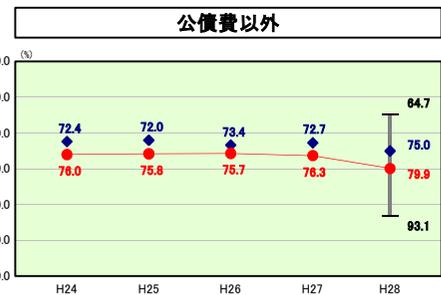
その他の分析欄

経常収支比率のうち、その他に係る割合が類似団体を大きく上回っているのは、特別会計等への繰出金が主な要因となっている。大きなものは下水道事業であるが、介護保険事業や後期高齢者医療事業への繰出額も給付費の増加により、年々増加傾向にある。下水道事業については、経費の節減に努めるとともに料金改定についても検討する必要がある。また国民健康保険税や介護保険料についても、一般会計の負担が過大にならないように、適正額を常に検討していく必要がある。



公債費の分析欄

類似団体平均と比較すると、やや低い水準となっているが、前年度と比較すると増となった。臨時財政対策債の償還は年々増加しており、更に、防災・減災事業等の建設事業による市債の償還が本格化することから、今後借入額の抑制や一括償還を継続的に実施し、公債費の抑制を図る必要がある。



公債費以外の分析欄

公債費以外の経常収支比率は、類似団体平均よりも高い水準となっている。これは、特別会計への繰出金や病院等の公営企業会計への補助金、一部事務組合への負担金が財政規模に対して多額となっていることが要因となっている。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成28年度

岡山県笠岡市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	3,441,378	68,355	62,051	10.2
賃金 (物件費)	447,915	8,897	5,713	55.7
一部事務組合負担金 (補助費等)	679,397	13,495	5,796	132.8
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	121,347	2,410	1,167	106.5
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	0	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	153,493	3,049	2,337	30.5
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	96,094	1,909	1,594	19.8
▲退職金	▲486,269	▲9,659	▲5,993	61.2
合計	4,453,355	88,455	72,665	21.7

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	7.25	7.22	0.03
ラスパイレース指数	100.2	98.4	1.8

(注) 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

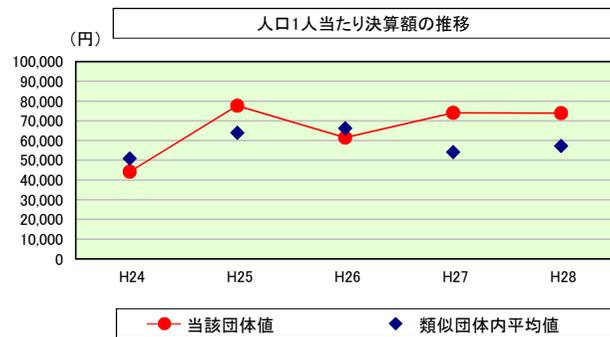


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	2,102,014	41,751	39,687	5.2
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	56	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	793,407	15,759	13,696	15.1
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	128,854	2,559	1,733	47.7
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	22,024	437	790	▲44.7
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く)	-	-	1	-
▲特定財源の額	▲390,689	▲7,760	▲5,521	40.6
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲1,952,185	▲38,775	▲35,785	8.4
合計	703,425	13,972	14,658	▲4.7

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額			
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)
H24	2,333,126	44,143	11.6	50,880	7.0
うち単独分	1,287,408	24,358	7.2	26,879	2.4
H25	4,079,088	77,660	75.9	63,956	25.7
うち単独分	2,731,945	52,012	113.5	29,239	8.8
H26	3,194,589	61,544	▲20.8	66,255	3.6
うち単独分	1,853,879	35,715	▲31.3	31,822	8.8
H27	3,793,544	74,065	20.3	54,227	▲18.2
うち単独分	2,604,967	50,859	42.4	29,694	▲6.7
H28	3,718,934	73,868	▲0.3	57,295	5.7
うち単独分	2,223,959	44,173	▲13.1	32,771	10.4
過去5年間平均	3,423,856	66,256	17.3	58,523	4.8
うち単独分	2,140,432	41,423	23.7	30,081	4.7

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

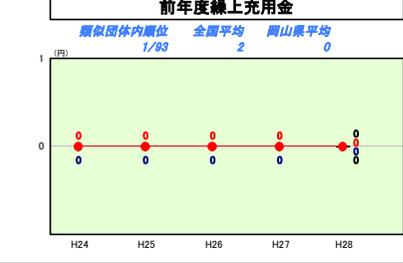
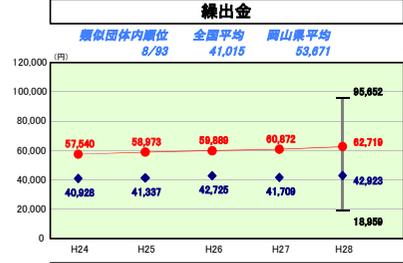
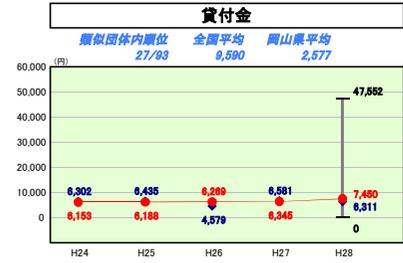
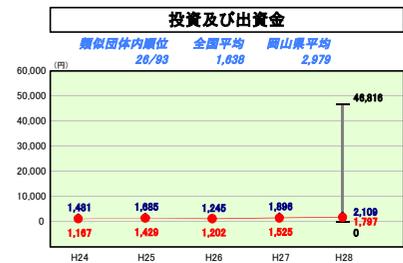
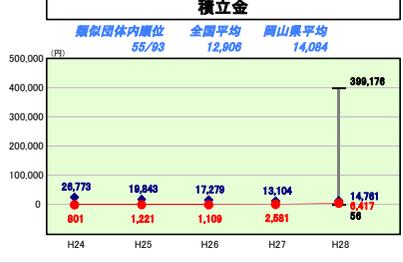
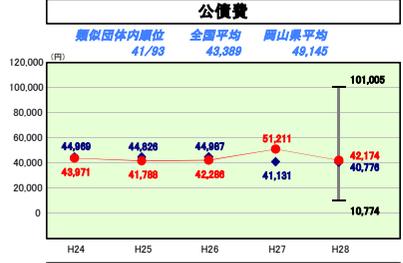
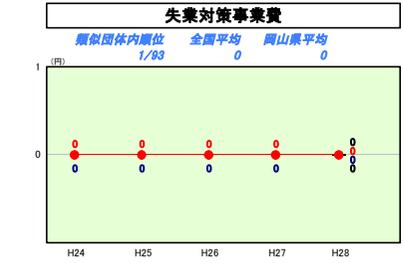
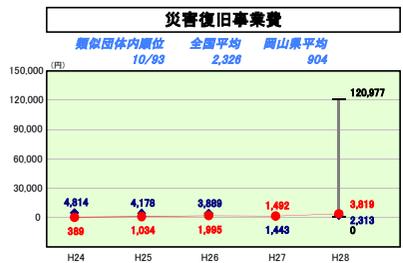
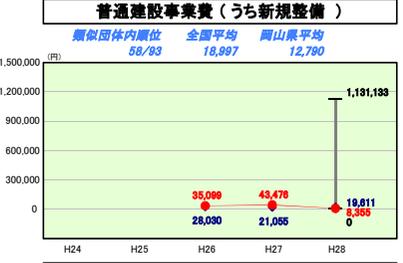
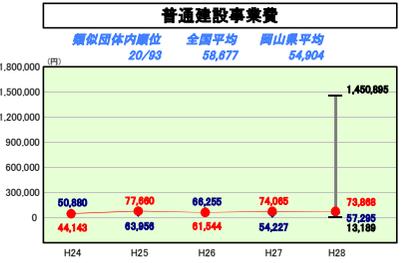
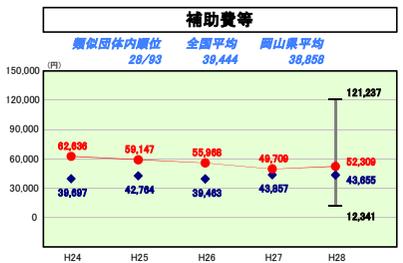
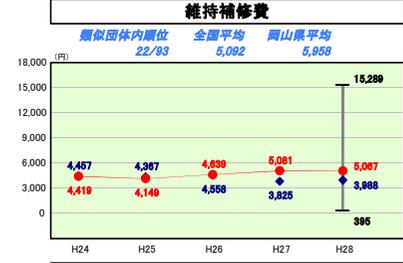
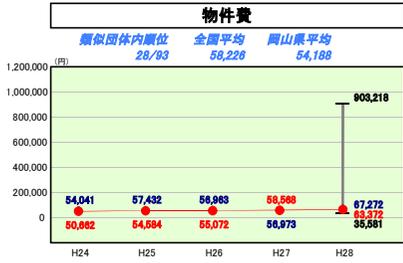
平成28年度

岡山県笠岡市

人口	50,346	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%	
うち日本人	49,961	人(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%	
面積	136.39	km ²	実質公債費比率	5.8	%	
歳入総額	24,303,371	千円	実質負担比率	67.5	%	
歳出総額	23,793,587	千円	市町村類型	H24 II-1	H25 II-1	H26 II-1
実収支	509,784	千円	(年度毎)	H27 II-2	H28 II-2	
標準財政規模	13,212,686	千円				
地方債残高	23,002,873	千円				



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

人件費は定年退職者の増により退職金が前年度比114.7%増となったため、一人当たりでは4,594円増となっている。物件費は臨時職員等資金の増や分別収受委託料の増により前年度比6.4%増となり、一人当たりでは4,804円増となっている。維持補修費は公営住宅維持補修費等の影響で、前年度比2.0%減となり、一人当たりでは14円減となっている。扶助費は全体的に増加傾向であるが、障害福祉サービスや私立保育所委託料などの増により前年度比2.9%増となり、一人当たりでは5,584円の増となっている。補助費は一部事務組合負担金やふるさと納税返礼品の増などにより前年度比3.4%増となり、一人当たりでは2,600円の増となっている。普通建設事業費はデジタル防災無線整備事業やテニスコート等整備事業などの大規模事業の増により前年度比10%増となり、一人当たりでは197円増となっている。公債費は、給費セック一建設用地を特別会計から一般会計へ買い戻したことによる繰上償還の増減等により前年度比19.1%減、一人当たりでは19,037円減となっている。積立金はふるさと共同恩恵基金、財政調整基金へ積立てができたことにより前年度比144.4%増、一人当たりでは3,836円増となっているが、類似団体平均と比較するとかなり低い水準となっている。繰入金は下水道、国保、後期高齢特別会計への繰出しが増となっているため、全体では1.9%増、一人当たりでは1,847円増となっている。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

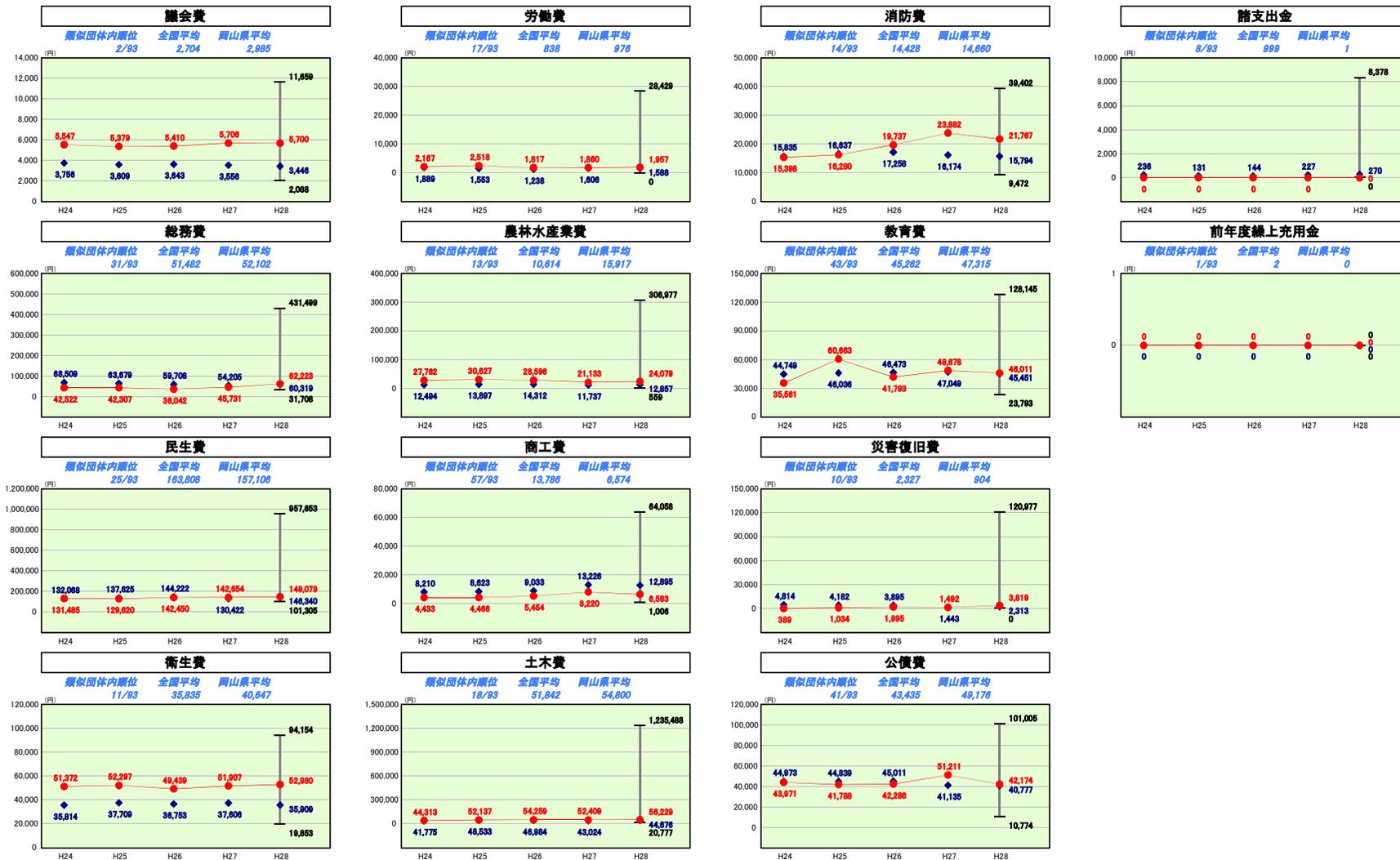
平成28年度

岡山県笠岡市

人口	50,346	人(H29.1.1現在)	実収赤字比率	-	%	
うち日本人	49,951	人(H29.1.1現在)	連結実収赤字比率	-	%	
面積	136.39	km ²	実収公債費比率	5.8	%	
歳入総額	24,303,371	千円	実収負担比率	67.5	%	
歳出総額	23,793,587	千円	市町村類型	H24 II-1	H25 II-1	H26 II-1
実収収支	509,784	千円	(年度毎)	H27 II-2	H28 II-2	
標準財政規模	13,212,886	千円				
地方債現在高	23,002,873	千円				

● 当該団体値
◆ 類似団体平均値
┆ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



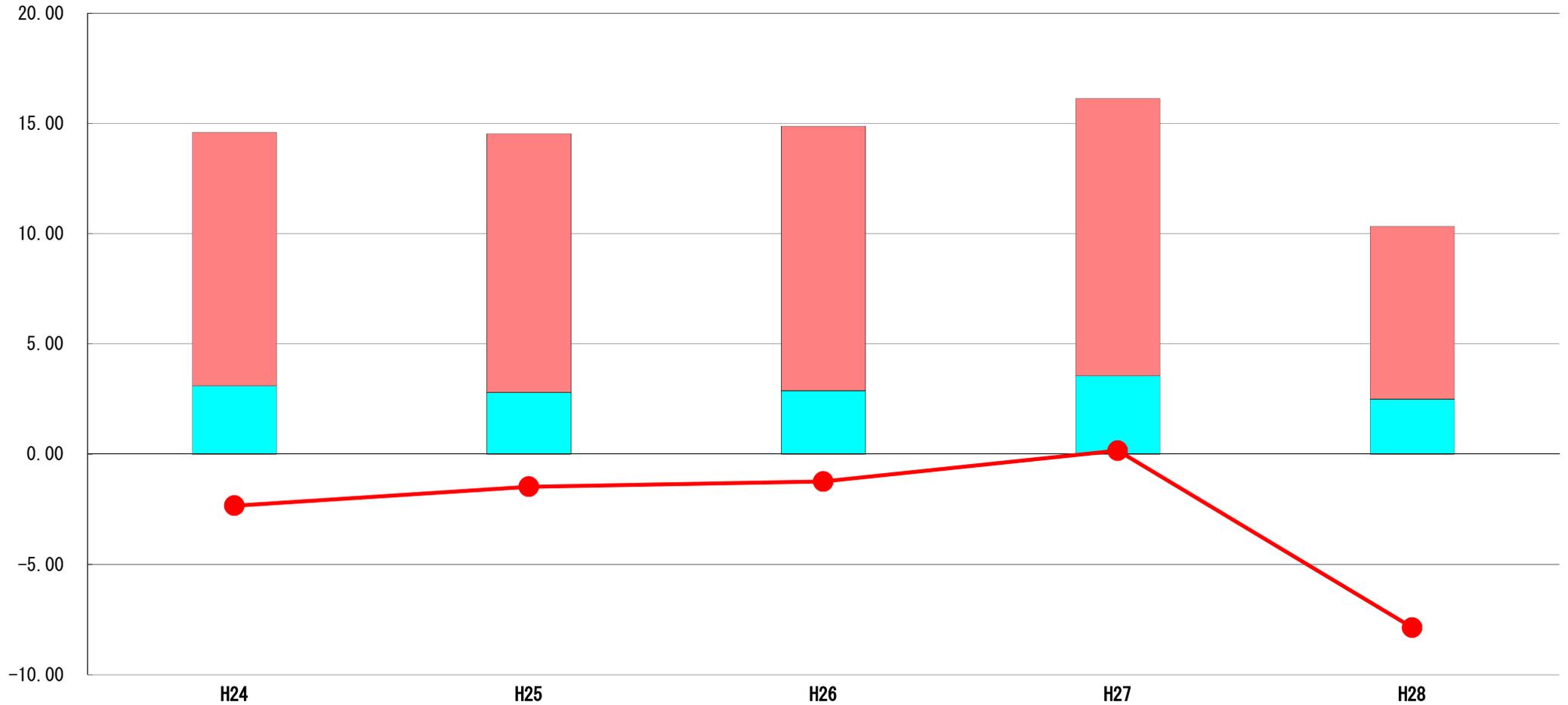
目的別歳出の分析概
 議会費は議員共済会負担金などの減により前年度比1.8%減、一人当たりでは6円減となっている。総務費は退職手当の増やふるさと納税推進事業などの実施により前年度33.7%増、一人当たりでは16,492円増となっている。民生費は年金生活者等支援臨時福祉給付金、障害児通所給付事業などの増により前年度比2.7%増、一人当たりでは6,425円の増となっている。衛生費は病院事業会計貸付金、分別収集委託料などの増により前年度比0.3%増、一人当たりでは1,073円増となっている。労働費は労働者福祉センター改修事業の増により3.4%増となっている。農林水産業費は湛江漁港改修事業や産地パワーアップ事業補助金などにより前年度比12.0%増、一人当たりでは2,946円増となっている。商工費は住宅リフォーム助成金、プレミアム商品券補助金の皆減などにより21.3%減、一人当たりでは1,637円減となっている。土木費は大規模修繕・更新事業の増などにより前年度比5.5%増、一人当たりでは3,820円の増となっている。教育費はテニスコート等整備事業の皆減等により前年度比△7.1%減、一人当たりでは2,667円減となっている。災害復旧費は、土木施設・農林災害復旧事業の増により、前年度比151.5%増、一人当たりでは2,327円増となっている。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)

平成28年度

岡山県笠岡市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H24	H25	H26	H27	H28
 財政調整基金残高		11.50	11.73	11.99	12.58	7.83
 実質収支額		3.10	2.80	2.89	3.55	2.50
 実質単年度収支		▲ 2.34	▲ 1.48	▲ 1.24	0.16	▲ 7.87

分析欄

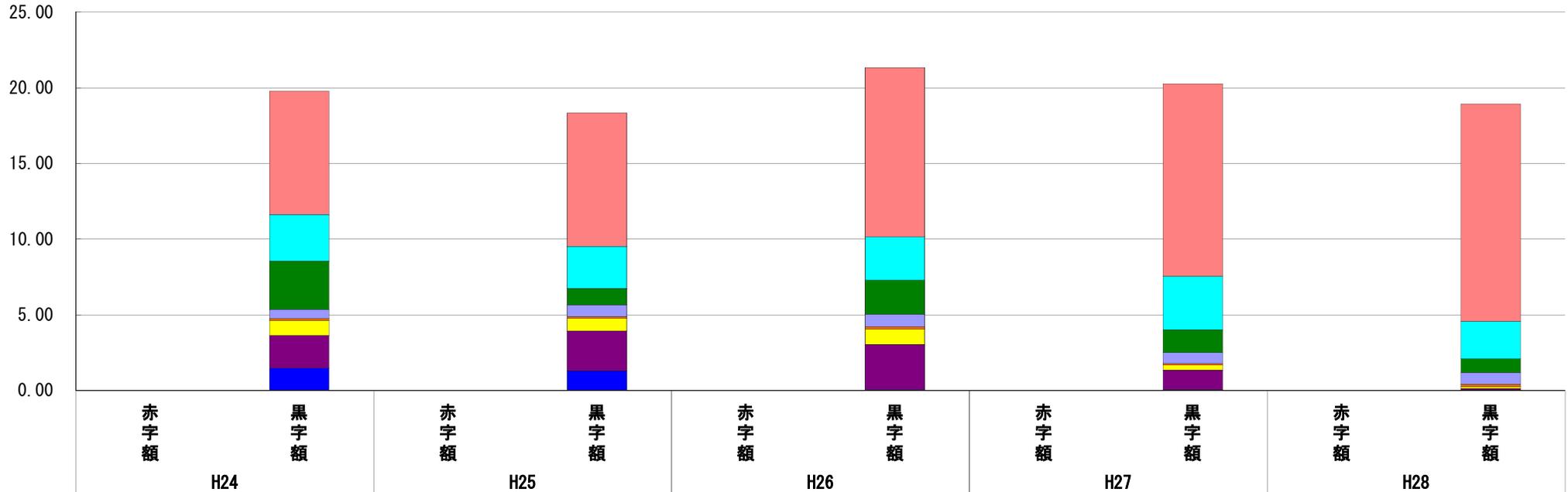
・平成24年度から財政調整基金残高の目標額を15億円から20億円としている。
 平成25年度は災害対応等により取り崩したが、約16億円を維持した。平成26年度は普通交付税の減により、その補填のため2億円を取り崩したが、約16億円を維持した。平成27年度は特別交付税が当初予算額より約3.3千万円の増となったため、3千万円積立て、歳計剰余積立てと合わせると約2.3億円積み増し残高は17億円となった。平成28年度は、災害対応及び普通交付税、地方消費税交付金等の一般財源が減となったことにより7億円の減となり、残高は10億円となった。
 ・実質収支については3億円後半から4億円前半の間で推移しているが、平成28年度は前年より減額となった。
 ・実質単年度収支については、財政調整基金の取崩が前年度より9.2億円増額になったことにより、マイナスとなった。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成28年度

岡山県笠岡市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H24	H25	H26	H27	H28
笠岡市水道事業会計		8.13	8.81	11.17	12.72	14.36
一般会計		3.09	2.79	2.87	3.53	2.48
笠岡市国民健康保険事業特別会計		3.18	1.08	2.25	1.52	0.91
笠岡市介護保険事業特別会計		0.61	0.78	0.82	0.72	0.77
笠岡市下水道事業特別会計		0.12	0.11	0.16	0.10	0.14
笠岡市土地造成事業特別会計		1.01	0.84	1.01	0.33	0.13
笠岡市病院事業会計		2.15	2.62	3.00	1.30	0.10
笠岡市へき地診療施設特別会計		0.00	0.00	0.00	0.01	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		1.47	1.30	0.04	0.03	0.02

分析欄

・平成28年度は全体では黒字額は前年度より減少している。この主な要因は、病院事業会計の医業収益の減による大幅な減少と国民健康保険事業特別会計の減少による。水道事業会計は給水収益の増により増加し、また、一般会計は実質収支がマイナスになったことにより、減少している。他の特別会計等は概ね横ばいとなっている。

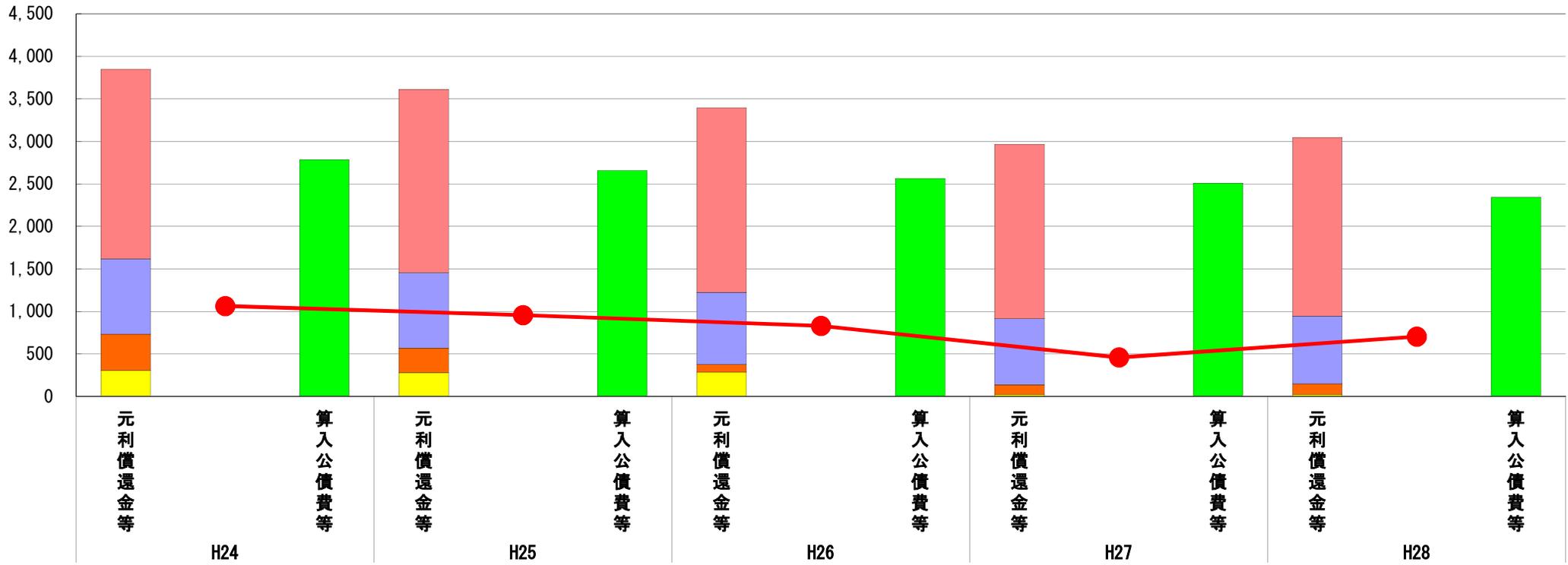
※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

岡山県笠岡市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
元利償還金等 (A)	元利償還金		2,231	2,157	2,169	2,053	2,102
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		883	884	847	776	793
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		428	292	91	113	129
	債務負担行為に基づく支出額		306	278	285	24	22
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		2,784	2,655	2,562	2,507	2,343
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,064	956	830	459	703

分析欄

・繰上償還額を控除した元利償還金の額は、近年の借入額の増が要因でH28から増加している。また、公営企業等の元利償還金に対する繰入金は下水道会計の償還額が増加傾向にあることが要因で増となっている。

・債務負担行為に基づく笠岡湾干拓事業負担金の支払いがH26年度で終了したことにより大幅に数値が改善している。

・今後の見込みとして、大規模ハード事業が続いていることや臨時財政対策債の元金償還が本格化することにより、元利償還金は増額傾向になると見込んでおり、引き続き債務の縮減等の財政健全化の取組を続けていく必要がある。

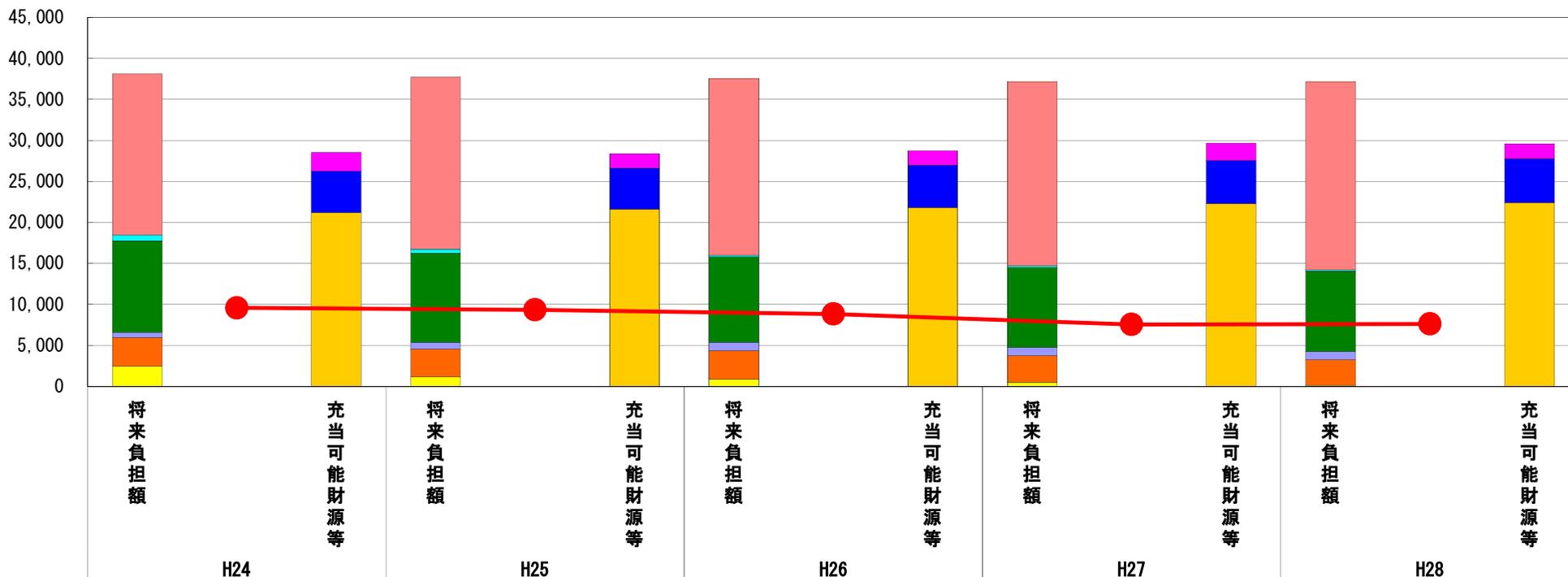
※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

岡山県笠岡市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		19,648	21,000	21,590	22,516	23,003
	債務負担行為に基づく支出予定額		717	452	186	165	146
	公営企業債等繰入見込額		11,159	10,900	10,417	9,781	9,823
	組合等負担等見込額		645	816	1,008	992	962
	退職手当負担見込額		3,494	3,397	3,509	3,252	3,126
	設立法人等の負債額等負担見込額		2,436	1,143	838	480	118
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		2,291	1,768	1,783	2,113	1,818
	充当可能特定歳入		5,041	4,997	5,166	5,255	5,345
	基準財政需要額算入見込額		21,203	21,615	21,784	22,279	22,412
(A) - (B)	将来負担比率の分子		9,565	9,327	8,814	7,538	7,604

分析欄

- ・借入金の一括償還や継続的な市債借入額の制限を行っているが、大規模なハード事業が続いていることや臨時財政対策債の残高が積み上がって来たことにより増加している。
- ・公営企業債等繰入見込額については、下水道会計等の償還額が増加傾向にあることが要因となり増となっている。
- ・設立法人等の負債額等負担見込額は、土地開発公社の着実な健全化により、年々減少している。平成25年度では新たな健全化計画を策定し、借入金の一括償還を行い、その後も年々縮減を図ることができている。

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

平成28年度

岡山県笠岡市

人口	50,346	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	49,951	人(H29.1.1現在)	通算実質赤字比率	-	%
面積	136.39	km ²	実質公債費比率	5.8	%
歳入総額	24,303,371	千円	将来負担比率	67.5	%
歳出総額	23,793,587	千円	市町村類型	H24 II-1 H25 II-1 H26 II-1	
実質収支	330,191	千円	(年度毎)	H27 II-2 H28 II-2	
標準財政規模	13,212,686	千円			
地方債現在高	23,002,873	千円			

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値

- ※ 有形固定資産減価償却率は平成30年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。
- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

有形固定資産減価償却率 有形固定資産減価償却率 [-]	類似団体内順位 -/-	全国平均 57.8	岡山県平均 66.5
固定資産台帳整備中・未整備	有形固定資産減価償却率の分析欄		
債務償還可能年数 債務償還可能年数 [-]		債務償還可能年数の分析欄	
算出式精査中のため、出力対象外			

将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析

将来負担比率と有形固定資産減価償却率の推移	分析欄					
固定資産台帳整備中・未整備	(参考)					
		H24	H25	H26	H27	H28
当該団体値	将来負担比率	/	/	/	/	/
	有形固定資産減価償却率	/	/	/	/	/
類似団体内平均値	将来負担比率	/	/	/	/	/
	有形固定資産減価償却率	/	/	/	/	/

将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析

将来負担比率と実質公債費比率の推移	分析欄					
将来負担比率については、今後も大規模なハード事業が続くため、市債借入額の増加傾向が見込まれますが、比率が上昇することのないように、借入金の一括償還など債務を増やさない取組を継続して実施する必要があります。 実質公債費比率についても、同様に大規模ハード事業が続く見込みにより、減少幅が徐々に減少していき、次年度以降は上昇が予想される。率の上昇を抑えるためにも健全化の取組を今後も継続していく必要がある。						
(参考)						
		H24	H25	H26	H27	H28
当該団体値	将来負担比率	84.3	81.9	78.5	65.2	67.5
	実質公債費比率	11.8	10.0	8.3	6.5	5.8
類似団体内平均値	将来負担比率	58.2	50.3	45.9	37.3	33.1
	実質公債費比率	10.3	9.6	8.8	7.8	7.5

(12)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

平成28年度

岡山県笠岡市

人	口	50,846	人(29.1.1調査)	実 質 赤 字 比 率	-	%
うち日本	人	49,951	人(29.1.1調査)	通 給 実 質 赤 字 比 率	-	%
面	積	136.39	km ²	実 質 公 債 負 比 率	5.8	%
歳 入 総 額		24,303,371	千円	得 来 負 担 比 率	67.5	%
歳 出 総 額		23,793,587	千円	市 町 村 類 型	H24 II-1 H25 II-1 H26 II-1	
実 質 収 支		330,191	千円	(年 度 毎)	H27 II-2 H28 II-2	
標準財政規模		13,212,686	千円			
地方債残存高		23,002,873	千円			

- ※ 平成30年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。
- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

固定資産台帳整備中・未整備

施設情報の分析欄

(12)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

平成28年度

岡山県笠岡市

人	口	50,846	人(H29.1.1調査)	実 質 赤 字 比 率	-	%
うち日本	人	49,951	人(H29.1.1調査)	通 商 実 質 赤 字 比 率	-	%
面	積	136.39	km ²	実 質 公 債 負 比 率	5.8	%
歳 入 総 額		24,303,371	千円	得 失 負 担 比 率	67.5	%
歳 出 総 額		23,793,587	千円	市 町 村 類 型	H24 II-1 H25 II-1 H26 II-1	
実 質 収 支		330,191	千円	(年 度 毎)	H27 II-2 H28 II-2	
標準財政規模		13,212,686	千円			
地方債残存高		23,002,873	千円			

- ※ 平成30年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。
- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

固定資産台帳整備中・未整備

施設情報の分析欄